

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和2年7月】

■調査概要（データ対象期間：令和2年7月1日～7月31日）

○調査期間：令和2年7月28日～令和2年8月21日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業22企業、製造業21企業、卸売業12企業、小売業24企業

飲食業13企業、サービス業43企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計135企業>

○調査項目：7月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※ $DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

松本市・松本商工会議所

概況

業況DIはマイナス幅の縮小 水準DIはマイナス幅の拡大

1. 業況判断

○全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲54.1）よりマイナス幅が0.8ポイント縮小し、▲53.3となった。業種別では、卸売業、サービス業、製造業、飲食業ではマイナス幅が縮小した。小売業、建設業はマイナス幅が拡大した。

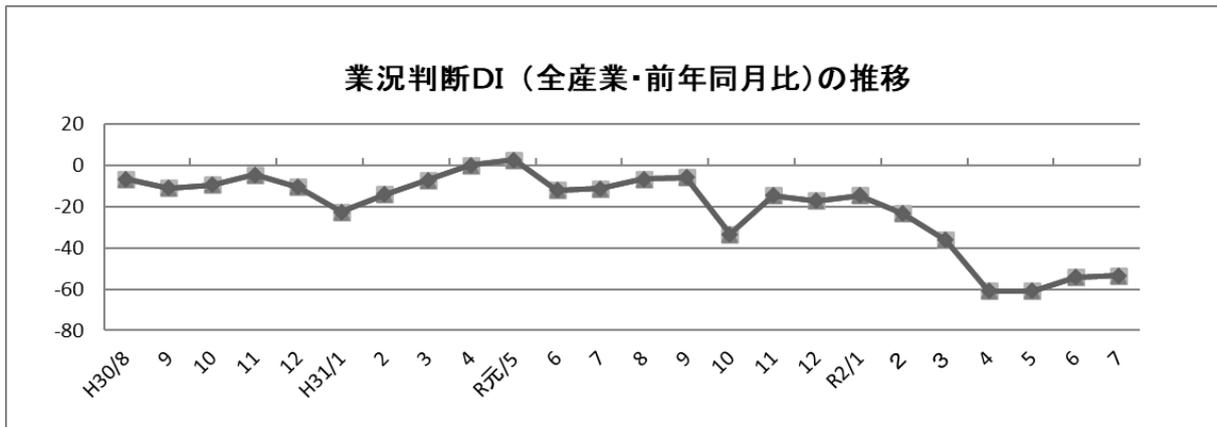
○全産業合計の水準DIは、前月（▲54.0）よりマイナス幅が0.8ポイント拡大し、▲54.8となった。業種別では、卸売業、サービス業、建設業、製造業はマイナス幅が縮小した。小売業、飲食業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	5.2 (8.1)	36.3 (29.7)	58.5 (62.2)	▲53.3 (▲54.1) ↗	3.7 (6.7)	37.8 (32.6)	58.5 (60.7)	▲54.8 (▲54.0) ↘
建設業	0.0 (8.3)	68.2 (54.2)	31.8 (37.5)	▲31.8 (▲29.2) ↘	0.0 (4.2)	77.3 (62.5)	22.7 (33.3)	▲22.7 (▲29.1) ↗
製造業	0.0 (5.9)	28.6 (11.7)	71.4 (82.4)	▲71.4 (▲76.5) ↗	0.0 (5.9)	28.6 (11.7)	71.4 (82.4)	▲71.4 (▲76.5) ↗
卸売業	8.3 (0.0)	41.7 (38.5)	50.0 (61.5)	▲41.7 (▲61.5) ↗	8.3 (0.0)	33.4 (30.8)	58.3 (69.2)	▲50.0 (▲69.2) ↗
小売業	12.5 (28.0)	12.5 (16.0)	75.0 (56.0)	▲62.5 (▲28.0) ↘	12.5 (24.0)	12.5 (20.0)	75.0 (56.0)	▲62.5 (▲32.0) ↘
飲食業	0.0 (0.0)	15.4 (13.3)	84.6 (86.7)	▲84.6 (▲86.7) ↗	0.0 (0.0)	15.4 (20.0)	84.6 (80.0)	▲84.6 (▲80.0) ↘
サービス業	7.0 (2.4)	41.8 (34.2)	51.2 (63.4)	▲44.2 (▲61.0) ↗	2.3 (2.4)	44.2 (36.6)	53.5 (61.0)	▲51.2 (▲58.6) ↗

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

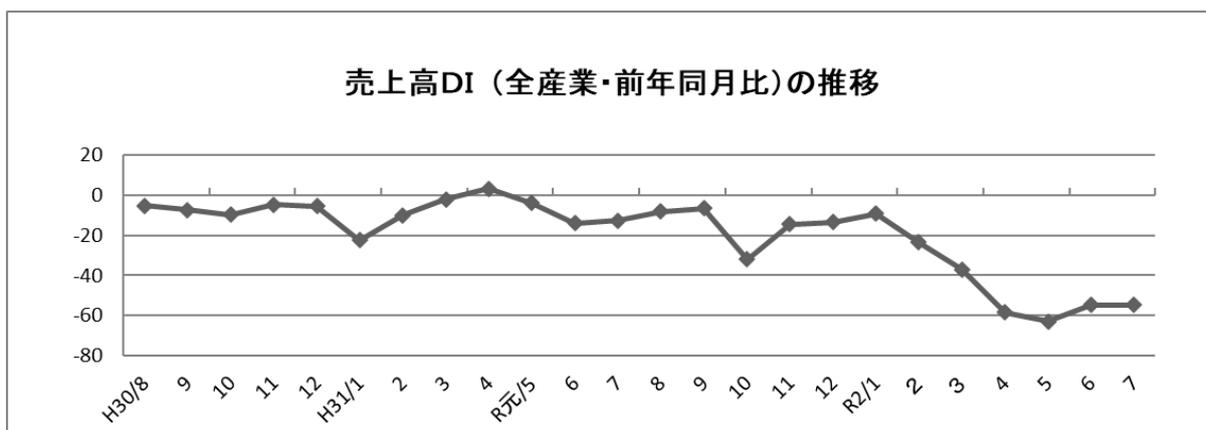


2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月と変わらず▲54.8となった。業種別に見ると、サービス業、卸売業、飲食業はマイナス幅が縮小し、小売業、製造業、建設業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全 体	▲ 12.6	▲ 8.0	▲ 6.6	▲ 32.0	▲ 14.6	▲ 13.3	▲ 9.3	▲ 23.4	▲ 37.0	▲ 58.6	▲ 63.0	▲ 54.8	▲ 54.8
建 設 業	▲ 8.3	0.0	▲ 4.0	4.0	0.0	▲ 4.0	16.6	▲ 12.5	▲ 5.0	▲ 35.0	▲ 18.2	▲ 29.2	▲ 31.8
製 造 業	▲ 4.8	▲ 35.0	13.6	0.0	▲ 18.2	▲ 40.9	▲ 14.3	▲ 41.0	▲ 19.1	▲ 75.0	▲ 70.0	▲ 70.6	▲ 76.2
卸 売 業	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 64.3	▲ 50.0	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 81.8	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 53.8	▲ 41.7
小 売 業	▲ 25.8	6.7	13.3	▲ 39.3	▲ 21.9	▲ 6.7	▲ 23.4	▲ 25.0	▲ 46.1	▲ 50.0	▲ 72.0	▲ 32.0	▲ 66.7
飲 食 業	▲ 12.5	▲ 26.6	▲ 31.3	▲ 76.5	▲ 43.8	▲ 20.0	▲ 31.2	▲ 47.0	▲ 92.9	▲ 92.3	▲ 100.0	▲ 86.7	▲ 84.6
サービス業	▲ 4.2	4.0	▲ 12.8	▲ 34.1	4.6	0.0	2.2	▲ 8.9	▲ 25.5	▲ 56.8	▲ 61.4	▲ 65.9	▲ 44.2

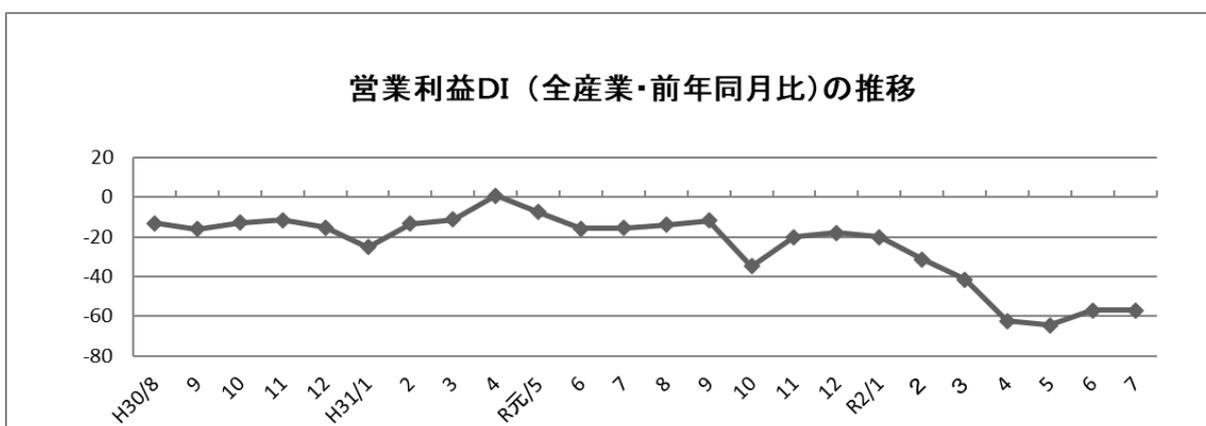


3. 営業利益DI（前年同月比）

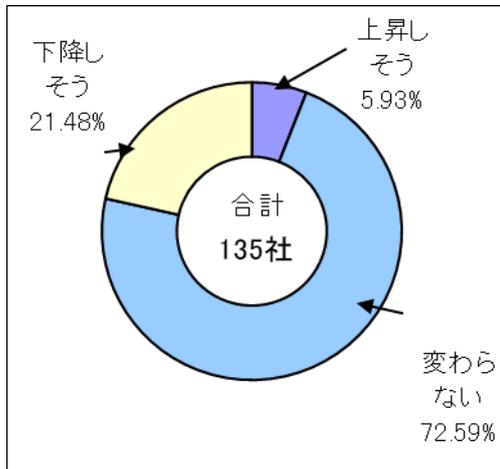
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲57.0）よりマイナス幅が0.1ポイント拡大して、▲57.1となった。業種別に見ると、サービス業、卸売業、飲食業、建設業はマイナス幅が縮小した。小売業、製造業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全 体	▲ 15.4	▲ 14.0	▲ 11.8	▲ 34.7	▲ 20.0	▲ 17.8	▲ 20.0	▲ 31.3	▲ 41.5	▲ 62.5	▲ 64.5	▲ 57.0	▲ 57.1
建 設 業	▲ 16.7	0.0	▲ 8.0	▲ 4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 4.2	▲ 29.1	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 31.8	▲ 37.5	▲ 36.4
製 造 業	▲ 19.0	▲ 45.0	▲ 9.1	▲ 10.5	▲ 31.8	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 81.2	▲ 65.0	▲ 82.3	▲ 90.5
卸 売 業	▲ 10.0	▲ 40.0	▲ 16.6	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 42.9	▲ 54.5	▲ 72.7	▲ 90.9	▲ 53.8	▲ 50.0
小 売 業	▲ 22.6	▲ 10.0	10.0	▲ 46.4	▲ 28.1	▲ 16.7	▲ 36.7	▲ 35.7	▲ 46.2	▲ 54.2	▲ 68.0	▲ 32.0	▲ 62.5
飲 食 業	▲ 18.8	▲ 20.0	▲ 43.7	▲ 82.4	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 37.5	▲ 52.9	▲ 85.7	▲ 92.3	▲ 100.0	▲ 86.7	▲ 84.6
サービス業	▲ 8.3	▲ 4.0	▲ 17.1	▲ 31.9	▲ 4.6	▲ 4.4	0.0	▲ 8.9	▲ 27.9	▲ 59.1	▲ 59.1	▲ 63.5	▲ 41.9



◇ 向こう3カ月の見通し ◇

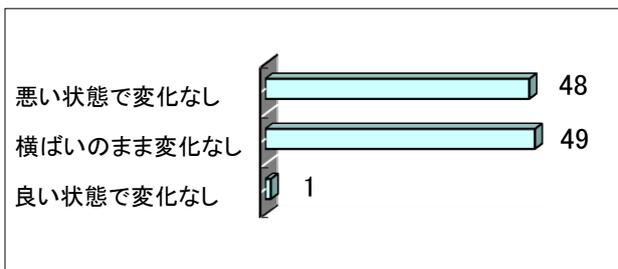


○令和2年8月～令和2年10月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ0.74ポイント減少し5.93%、「下降しそう」が0.74ポイント減少し21.48%となった。業種別の見通しDIは建設業(▲4.6)、製造業(▲23.8)、卸売業(▲8.3)、小売業(▲25.0)、飲食業(▲23.1)、サービス業(▲11.6)であった。

➡「上昇しそう」では「災害復旧工事を含め公共工事が発注され始めたため」(建設業)「新型コロナウイルス感染症の調整が落ち着いたため」(製造業)「改装、新規業態等があるため」(小売業)「まだ良い“上昇”とは言えないが、人出が増えてきたため」(飲食業)「Go Toトラベルキャンペーンに期待するため」「コロナ禍による失業者の増加で職業訓練受講者数の増加が見込まれるため」(サービス業)といった声が寄せられた。

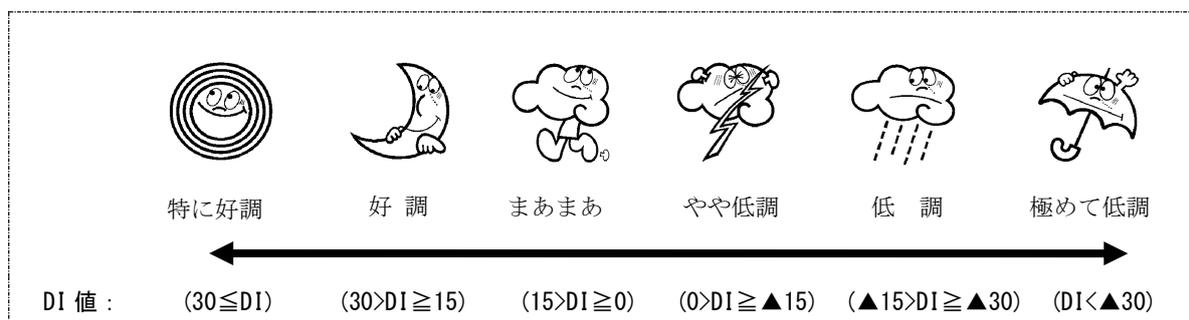
➡「変わらない」では「災害復旧関連で若干売上が伸びそうなため」(建設業)「秋はお菓子の新商品が発売される季節であるため」「しばらく新型コロナウイルス感染症が沈静化しそうもないため」(製造業)「大型案件の受注は見込めないため」(サービス業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「全く売上がないため」「新型コロナウイルス感染症第2波が現実的に。自粛などの経済縮小傾向も否めないため」「見積件数が激減したため」(製造業)「新型コロナウイルス感染症の影響、野菜の不作、高値のため」(卸売業)「秋物の動きが悪く、セールも動かないため」「個人の消費の低迷が続くそうのため」「感染状況によって観光客の減少がおりそうであるため」(小売業)「新型コロナウイルス感染症第2波が来ているとも言える状況で、お盆の帰省客はほぼ無いと見込まれ、盆料理の仕出ができないため」(飲食業)「新型コロナウイルス感染症の拡散と、長野県が県外客誘致を控えるようにとしたため」(サービス業)「新型コロナウイルス感染症の影響が続くため(同意見9件)」といった声が寄せられた。

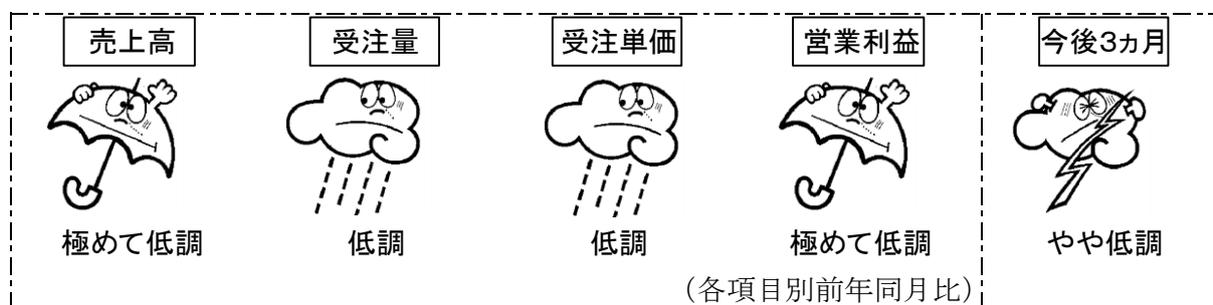


業種別景況

<D I 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	▲ 8.3	0.0	▲ 4.0	4.0	0.0	▲ 4.0	16.6	▲ 12.5	▲ 5.0	▲ 35.0	▲ 18.2	▲ 29.2	▲ 31.8
受注量	▲ 12.5	4.0	4.0	20.0	4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 55.0	▲ 36.4	▲ 29.2	▲ 27.3
受注単価	0.0	4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 8.3	▲ 5.0	▲ 15.0	▲ 18.2	▲ 20.8	▲ 18.2
営業利益	▲ 16.7	0.0	▲ 8.0	▲ 4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 4.2	▲ 29.1	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 31.8	▲ 37.5	▲ 36.4
見 通 し	8.4	▲ 4.0	▲ 4.0	4.0	0.0	▲ 8.0	4.2	▲ 12.5	▲ 5.0	▲ 25.0	▲ 13.7	▲ 4.2	▲ 4.6

<経営者の目・見方・e t c>

建築工事

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で今後さらに下請け業者の廃業が増えるかもしれない。
- ・活動の制限がなくなったことで人の動きが出てきている。

鉄工

- ・当社としては新型コロナウイルス感染症の影響はそれほど受けていないが、今後は避けられそうになく心配している。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響でますます経済が落ち込むことで個人消費がさらに落ち込みそうである。

管工事

- ・あまり変化はないが、年末以降が心配である。住宅産業は来年度影響があるかもしれない。

電気工事

- ・業界また組合等より新型コロナウイルス感染症に対する予防対策などの文書をここにきて盛んにまた目にしている。とにかく現場内、会社内にクラスターを発生させないよう各社が気を付けている。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	▲4.8	▲35.0	13.6	0.0	▲18.2	▲40.9	▲14.3	▲41.0	▲19.1	▲75.0	▲70.0	▲70.6	▲76.2
受注量	▲4.8	▲10.0	4.5	▲10.5	▲22.8	▲27.3	▲19.0	▲41.0	▲33.3	▲75.0	▲75.0	▲70.6	▲81.0
受注単価	▲4.8	▲10.0	▲18.2	▲15.8	▲22.7	▲13.6	▲14.2	▲9.1	▲4.7	▲25.0	▲25.0	▲35.3	▲42.9
営業利益	▲19.0	▲45.0	▲9.1	▲10.5	▲31.8	▲50.0	▲38.1	▲50.0	▲38.1	▲81.2	▲65.0	▲82.3	▲90.5
見通し	▲9.5	▲20.0	▲18.2	▲15.8	▲27.3	▲4.5	4.8	▲22.8	▲38.1	▲31.3	▲30.0	▲35.3	▲23.8

<経営者の目・見方・etc>

- | | |
|----------|---|
| 菓子 | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の関係で半生菓子の需要も落ちてしまった。一般的なスーパーや小売店の売上はまだ下落幅は小さいが、お土産などへの販売は70%程度減少した。 |
| 印刷 | <ul style="list-style-type: none"> ・先月の予想で新型コロナウイルス感染症第2波が早まることを想定していたが、残念ながら想定通りの状況に至っている。それにもかかわらず、Go Toトラベルキャンペーンなど、感染拡大都市部地域からの流入により、一層感染リスクが高まっている。 |
| 精密機器 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き非常に厳しい状況が継続していて出口が見えない。できることを粛々としていくしかないと思う。 |
| 小型情報機器組立 | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で先が見えない。言葉が見つからない。 |
| 金属塗装 | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、受注が減少している。しかし、中国がようやく動き出したようで期待もしている。 |

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 64.3	▲ 50.0	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 81.8	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 53.8	▲ 41.7
販売客数	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 16.7	▲ 28.6	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 15.4	▲ 28.6	▲ 54.5	▲ 45.5	▲ 54.5	▲ 30.8	▲ 25.0
販売客単価	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 35.7	▲ 8.4	7.7	▲ 23.1	▲ 7.1	▲ 54.5	▲ 45.5	▲ 27.3	▲ 15.4	▲ 33.4
営業利益	▲ 10.0	▲ 40.0	▲ 16.6	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 42.9	▲ 54.5	▲ 72.7	▲ 90.9	▲ 53.8	▲ 50.0
見通し	▲ 10.0	▲ 10.0	8.3	0.0	▲ 16.7	7.7	▲ 23.1	▲ 35.7	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 45.5	▲ 7.7	▲ 8.3

<経営者の目・見方・e t c>

土産品

・Go To トラベルキャンペーンの恩恵もなく相変わらず厳しい状況。業種変更も検討する、新しい様式になることなど業界全体で考える必要がある。雇用調整助成金は9月以降も継続して頂きたい。

魚介類

・新型コロナウイルス感染症の影響拡大により飲食・観光関連でキャンセルが出ており、先行きが心配だ。

青果

・曇天、長雨の影響で野菜の単価高が続くと予想される。コロナ禍で先月同様、業態によっては厳しさが続いているのが現状だ。

青果卸小売業

・長雨、天候不順の影響がこれから先も続くと考えられる。ロスを減らして販売することを考えていかないと厳しい状況になる。

金属製品

・大手自動車メーカーの中でも回復の兆しに温度差がある。建設業界においても物件は薄い状態で、今後物件の取り合いとなれば単価下落も予想される。

機械工具

・大きな物件と先受注により今月は乗り切ったが、まだ動きが悪く、不安定な状況は続いている。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	▲ 25.8	6.7	13.3	▲ 39.3	▲ 21.9	▲ 6.7	▲ 23.4	▲ 25.0	▲ 46.1	▲ 50.0	▲ 72.0	▲ 32.0	▲ 66.7
販売客数	▲ 35.5	0.0	0.0	▲ 42.9	▲ 25.0	▲ 13.3	▲ 6.7	▲ 35.7	▲ 61.5	▲ 62.5	▲ 68.0	▲ 44.0	▲ 54.1
販売客単価	▲ 6.5	3.4	3.3	▲ 35.8	▲ 15.6	10.0	▲ 16.7	3.6	▲ 26.9	▲ 25.0	▲ 28.0	▲ 12.0	▲ 37.5
営業利益	▲ 22.6	▲ 10.0	10.0	▲ 46.4	▲ 28.1	▲ 16.7	▲ 36.7	▲ 35.7	▲ 46.2	▲ 54.2	▲ 68.0	▲ 32.0	▲ 62.5
見通し	▲ 16.1	0.0	▲ 26.6	▲ 10.7	▲ 9.4	▲ 3.3	▲ 26.6	▲ 53.6	▲ 61.6	▲ 45.8	▲ 32.0	▲ 20.0	▲ 25.0

<経営者の目・見方・e t c>

印章

・夏休み期間になって松本城や街中の観光客は少ないながらも見かけるようになった。梅雨が明けないまま7月が終わった。8月の人出に期待したい。

印章・刃物研ぎ
洋菓子店

・業界の動き等、情報が入らなくなった。
・同業でも、駅周辺や観光地は厳しいが、郊外型の店舗は忙しい状況。ケーキ屋、パン屋はテイクアウト要素が強いの新型コロナウイルス感染症の影響は他業種ほどないと思われる。現在また感染症患者が増え続けていることや大雨などの自然災害も増え続けているので、不安要素はたくさんある。

和菓子
味噌・しょうゆ

・県内、市内での活動が7月から盛んであるように感じた。
・人の動きが出始め回復したかに見られたが、再び新型コロナウイルス感染症拡大でまだ影響が大きいと感じる。

婦人服

・セールが6月からスタートしてよいセール商材が無くなって厳しい月になった。商材の展開の仕方等、本社指示をよく理解してお店を売れるショップにしていけることが大切だと思う。

化粧品

・新型コロナウイルス感染症の影響で物販はできるが、重視したい肌タッチ活動が全くできないのは残念である。

住宅機器

・新型コロナウイルス感染症の影響で網戸の注文が多く、中には引き渡しまで60日かかるものも出てきた。

燃料

・新型コロナウイルス感染症の影響と原油価格の高騰。

陶磁器

・毎月特急しなので出張しているが、ようやく乗客が戻ってきた。時間帯によっては前年並みだ。市内を走る県外ナンバーも目に付くようになった。飲食店からの受注も少しずつ回復してきた。努めて外食するようにしているが、平常に戻った店も目立つようになった。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	▲12.5	▲26.6	▲31.3	▲76.5	▲43.8	▲20.0	▲31.2	▲47.0	▲92.9	▲92.3	▲100.0	▲86.7	▲84.6
販売客数	▲12.5	▲26.6	▲37.5	▲70.6	▲43.8	▲13.4	▲25.0	▲47.0	▲92.9	▲92.3	▲100.0	▲86.7	▲84.6
販売客単価	0.0	▲20.0	▲18.7	▲17.6	▲18.7	▲20.0	▲18.7	▲23.5	▲57.1	▲69.2	▲81.3	▲66.7	▲61.5
営業利益	▲18.8	▲20.0	▲43.7	▲82.4	▲50.0	▲40.0	▲37.5	▲52.9	▲85.7	▲92.3	▲100.0	▲86.7	▲84.6
見通し	0.0	▲13.3	▲12.5	▲5.9	▲6.2	▲13.3	▲6.3	▲47.1	▲71.4	▲46.2	▲18.7	▲26.6	▲23.1

<経営者の目・見方・etc>

料理

・長雨の季節と新型コロナウイルス感染症で終息のない不安感が多い状態である。

・Go To トラベルキャンペーンに期待したが、がっかりの状態だった。また、県民向け観光クーポンを使うお客様が多かったが、取り扱いがよくわからないまま対応することがあった。精算の方法についても戸惑うことがあった。現在の患者数などより根拠のある数字を知りたい。

創作料理

・4月6日以降、予約は皆無だったが、7月末に予約が3組入った。しかしながら、近隣で新型コロナウイルス感染症患者がでた途端に客数は延べ40名が全てキャンセルとなってしまった。それ以降予約は無し。四賀野球場のオープンで高校野球中信地区大会、信濃グランセローズの試合、少年軟式野球大会が7月～8月に開かれている。来場者を見込み出店を試みたが高野連等から許可が下りず断念。市所有の敷地内販売も許可されず販売場所がない状態。今後どうするか不明の状況。

郷土料理

・外出自粛の規制が外れたことから県外からの来客もちらほら見られたが、それに対する地元の方が不安な様子を見せることが多いことに気づいた。新型コロナウイルス感染症に対する不安が大きく、県外客の多い当店は不安に思えるようだ。

食堂

・雨降りの多い月で野菜の値段が高騰して困った。4連休のイオンモール周辺は久しぶりに車の渋滞が見られ、人出も多く賑やかだった。7月末は新型コロナウイルス感染症患者が増え続けて心配である。

寿司

・県を超える人の移動制限が緩和され、新型コロナウイルス感染症患者は全国的に増え続けている。対策として、県外からのお客様はすべてお断りしている。偏見といわれるかもしれないが、地元のお客様の安全を確保しなければならない。

居酒屋

・Go To トラベルキャンペーンにより新型コロナウイルス感染症患者が増え、増々飲食店だけでなく他の景気も悪くなる。

そば

・7月終盤に東京はじめ大阪、愛知など首都圏だけでなく長野県でも新型コロナウイルス感染症患者が急増し、4連休もそれなりに人出があり8月のお盆明けがどうなっているのか大変危惧している。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	元年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	▲ 4.2	4.0	▲ 12.8	▲ 34.1	4.6	0.0	2.2	▲ 8.9	▲ 25.5	▲ 56.8	▲ 61.4	▲ 65.9	▲ 44.2
販売客数	▲ 8.3	2.0	▲ 14.9	▲ 40.4	0.0	▲ 10.9	▲ 10.9	▲ 8.9	▲ 32.5	▲ 59.1	▲ 54.5	▲ 63.4	▲ 46.5
販売客単価	▲ 6.2	6.0	▲ 6.3	▲ 25.5	2.3	▲ 2.2	4.3	▲ 2.2	▲ 16.2	▲ 31.8	▲ 36.4	▲ 39.1	▲ 25.6
営業利益	▲ 8.3	▲ 4.0	▲ 17.1	▲ 31.9	▲ 4.6	▲ 4.4	0.0	▲ 8.9	▲ 27.9	▲ 59.1	▲ 59.1	▲ 63.5	▲ 41.9
見通し	▲ 2.1	▲ 12.0	▲ 14.8	▲ 2.1	▲ 7.0	▲ 10.8	▲ 4.4	▲ 40.0	▲ 44.2	▲ 34.1	▲ 20.5	▲ 9.7	▲ 11.6

<経営者の目・見方・etc>

自動車整備・
板金塗装

・新型コロナウイルス感染症拡大の影響が出てきている気がする。各地で数多くの感染者が出ているのに加え、長雨の影響も各地に見られる。世の中が変わってきているようで不安である。

機械設計
ソフトウェア

・仕事量は平年並みで今年はいけそうである。
・新型コロナウイルス感染症の影響で、顧客との頻繁な打ち合わせが必要な新規案件を進めにくい。その反面、リモート環境の整備と、既存システムのクラウド化とダウンサイズによる機能改善が見込まれている。構造的な変化が進んでいる。

システムサポート

・じわじわとユーザー先へ新型コロナウイルス感染症の影響が広がり、商談のストップや延期が増えている。先の好転予測がつきにくい状況である。

タクシー

・客数は前月より少し増えた。キャッシュレスが浸透してきたのかカードやスマホ利用で決済するお客様が急に増えてきた。

旅館

・Go To トラベルキャンペーンもドタバタしたまま見切り開始し、又、東京を除外したのでは意味がない。
・新型コロナウイルス感染症の影響が大きい。

温泉旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・前年同月期の売上に比べれば依然3割程度下がっているが、徐々に上向き傾向を感じる。ここ最近の新型コロナウイルス感染症第2波の影響が非常に危ぶまれる。せっかくのGo Toトラベルキャンペーンも相殺されてしまうほどの危機を感じる。この先どうなるのだろう、と不安しかない。 ・7月も新型コロナウイルス感染症の影響により営業にならなかった。トップシーズンであるのに県内外の外出禁止。観光もビジネスもスポーツも予約取り消し。8月も同じ状況が予想される。
観光旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨による土砂崩れで開業が遅れ、その後も連日の新型コロナウイルス感染症の報道によりキャンセルは続出し、予約は伸びない。梅雨明けは8月になってしまい、大変な年になってしまった。Go Toトラベルキャンペーンに参画したが、とても複雑で難しく、これでお客が増えるのか疑問である。
宿泊	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の対策をしながら7/18より経済活動を再開した。密になることなく、それはそれでよかったが、地域では様々な災害被害等が重なり、反省もあるが課題、対策の必要性を痛感している。
ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症のため、全く商売にならない。宿泊は前年の4割、レストランは5割、宴会は1割にも満たない。Go Toトラベルキャンペーンも今のところ予約はない。
リラクゼーション 理容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響をあまり感じなくなってきた。 ・年内の回復は無理だと思う。先が読めない展開が続くので、今できることをするだけ。
測量・建設コンサル タント業	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで新型コロナウイルス感染症で自粛していた会議事業などが少しずつ開催されるようになり、動きが出てきた。
不動産賃貸	<ul style="list-style-type: none"> ・変動なし。
ホームクリーニング・ リネンサブライ	<ul style="list-style-type: none"> ・7月22日よりスタートしたGo Toトラベルキャンペーンによって売上は4、5月に比して多少伸びたものの、昨年対比では遠く及ばない。しかしながら感染症拡大が心配である。基本である手洗い、うがい、マスク着用を徹底したい。Withコロナとしての2～3年間をどう会社維持していくかを早急に構築する必要がある。
介護サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症と長梅雨で最悪の状況。心身ともにくたびれている。
獣医	<ul style="list-style-type: none"> ・春先から初夏は営業利益の前年度比は良かった。新型コロナウイルス感染症については厳重に予防、注意を図っている。
教育業	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍が終息する方向に向かえば、また活動も増えて従来の活気が戻ると思う。